

## 宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成26年10月21日（火）9：20～12：20
場 所	宗像市役所 204会議室
委 員	■ 井上豊久 、 ■ 志岐宏美 、 ■ 辻洋子 、 ■ 東博子 、 ■ 前田誠 ■ 松永年生 、 □ 南博 、 ■ 宮崎弘子 、 ■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	市民協働・環境部長；福崎 コミュニティ・協働推進課；瀧口、村上、吉永、福島、合島 (株)よかネット；本田
傍聴者	2人

### 1. 会長あいさつ

本日の審議会は市民サービス協働化提案制度の件が主になるが、コミュニティ基本構想・基本計画の素案、市民活動推進プランについても、みなさんの意見をお聞きしたい。

また、先日福岡ブロックの社会教育委員研修会が行われ、今年は宗像ブロックが担当ということで5人参加した。そこでのテーマもコミュニティの世代間を紡ぐ、コミュニティの在り方ということで、文化や健康づくりという切り口から、コミュニティが取り組むべき活性化ということが、どこでもテーマになっている。

これから何ヶ月かかけてコミュニティ基本構想・基本計画について審議会でも検討していくので、よろしくお願ひしたい。

《事務局から》

- ・本日の会議の進め方について。協働化事業提案団体の一つに、井上委員が関わっておられる。そのため、事前検討については、先に事務連絡及び総合的な審査の流れを協議いただき、その後当事者となる事案にかかる際に退席いただくとともに、そのままお引取りいただく、ということにさせていただきたい。⇒了承
- ・本日2人の傍聴希望あり。⇒了承

### 2. 諮問

「第2次宗像市コミュニティ基本構想・基本計画」「平成26年度宗像市市民サービス協働化提案制度」について諮問

### 3. 協議事項

#### (1) 第2次宗像市コミュニティ基本構想審議

事務局から、策定のスケジュール及び「第2次宗像市コミュニティ基本構想・基本計画素案」に基づき説明。今回は基本構想の提案で、基本計画については今後提案し、審議いた

だく。

●スケジュールの中の「策定部会」は、この審議会ではなくて、部会員、コンサル及び事務局ということか。

⇒お見込みのとおり。

●目標年次について、総合計画は5年で再検討となっているが、本構想も限定はしないが5年くらいで見直すのか。

⇒期限を限定せず、柔軟な対応をしたいと考えている。

●コミュニティに対してミニマムスタンダードというか、これとこれは押さえましょうよというものを今回は入れていくのか。

⇒コミュニティ運営協議会の考え方も大きく変わってきている。税制面や雇用面でも対応、検討すべき環境が大きく変わってきており、事務局でも課題と捉えている。行政でスタンダードをお示しすることは必要と考える。この問題については、全国的な自治組織のなかでも一番の課題になっていて、その解決が図られている事例はないとのこと。

●コミュニティ施策の課題の検証について、最初にマスタープラン、次に合併検証、その次に施策検証審議会となっているが、実際の順番は違う。当初は平準化を目指していたが、これからは地域の特色を活かした取組がよいのではという提言を出した。コミュニティの本格的な検証は、22年度の検証審議会が最初だと思うが、ここの順序が逆の方がよいのではと思う。この順序になった理由があれば聞かせていただきたい。

⇒特段の理由はないが、行政計画として作るので、行政の中での上位計画ということでまずマスタープラン、次に大きな出来事であった合併、その次にコミュニティに特化したものに、ということで少しずつ範囲を絞っていった、という格好になっている。

●検証審議会の審議は1年以上かかったと記憶している。順番は特に気にしなかったが、検証審議会の答申は大きな柱として活かしていると感じた。その中でよく言われたのは、事務局体制よりも事務局機能という表現でこだわった。基本計画でもそのように考えてほしい。機能が整えばそれに合わせて体制も整えられる。表現の問題であるが。

●この順番については、特に変えた方がよいということではない。事務局の考えで進めていただいて構わない。

●他自治体と比しても補助金・交付金は、当市は群を抜いている。まちづくり交付金の財源における基金の割合は。

⇒全額一般財源で賄う。人づくりまちづくり基金は人づくりでまちづくり事業補助金等に充てられている。基金の果実の余剰分が充当される場合もあるが。

(会議後確認修正；基金からの充当はない。元気なまちづくり基金は、人づくりでまちづくり補助金などに充てられている。)

●よくまとまっているとは思いますが、全体的に今までの状況をまとめただけという印象がある。今後どのようにやっていくのかということは、おそらく基本計画で出てくるのだろうが、このあたりを基本構想の中で放り込んでおくことはできないだろうか。また、合併検証の中で“押し付けになっている”との意見があるが、それは、それを指導する人

材を育成しなければならない、あるいは事務局機能を強化するということだが、本当にそれだけでよいのか。例えば自治会加入者が年々低下している、その辺りをもう少し、根本的に今のやり方でよい分と問題がある分とするならば、その辺りを解決していったというものが若干足りないように感じた。

⇒まずは課題を整理して、何をクリアしなければならないかということをはっきりし、それに基づき基本計画を作りこんでいくことになる。

基本計画については、まずそれぞれの項目の現状と課題を記して、それに対応する施策を述べていくことになる。それでももう少し明らかになるのではないかと思う。目指すべき将来像については、一番肝心な部分はまだ決まっておらず、基本計画の検討を進めながら、それに合わせて考えようということになっているので、そこが示されると、今のご指摘の部分も明らかになってくると思われる。

●マスタープランも抽象的なので、その前段階としても若干抽象的ということで、よりリアルにこういう方向を目指していると、それが若干なり分かるということにしないと、全体的に抽象的で何なのかということになってしまう。

●コミュニティ施策についての検証は、かなり丁寧になされている。これから取り組もうとされている基本計画と、きちんと対応していると思う。具体的なことは、まだ骨子の段階なので、基本計画のもう少し具体的なものが出てきた方が分かりやすいだろう。そこでまた見直していただけたら。

●コミュニティ・ビジネスの所で、注釈で「コミュニティ・ビジネスとは」と書かれているが、全国的なものをみながら一般論で、ここはこのままで良いと思うが、その後に宗像では地域創造ビジネスという、ということをここで言って後半の展開につなげた方が良いと思う。

⇒9 ページには地域創造ビジネスの注釈が載っているが、ここにも別途記載するということか。

●それとのつながりがうまくいっていないように思われるから。

⇒策定部会の中では、敢えて分けた経緯がある。地域創造ビジネスの項目にも同様の説明を記述していたが、分かりにくいとの意見が出た。一般論と本市の分をきれいに分けた方がよいということだった。

●地域創造ビジネスという言葉がまだ公になっていない。総合計画の中で出てくる。平成27年度から使われるようになる。

●「地域住民」の注釈で、5番目の「当該事案について利害関係…」の記述は唐突で、どのように関わるから地域住民になるということがないと、これだけではどうかな、と思う。

●市民参画条例の定義そのままだが記載されている。

⇒市民参画条例に規定されている旨の説明が必要だった。解りやすいように追記したい。

●市民参画手続の中に、パブコメなどの手続きで、利害関係がないと困るような事態があることが予想される。

●条例に基づくという説明が必要だろう。

⇒あまり詳細になり過ぎると混乱するので、初めて読んだ方でも解るように修正したい。

●16 ページの表に、共感と協働とあり、上の方に説明してあるが、対話することで共感ということだが、対話ではなくて敢えて共感という言葉を持ってきたのは、何か意味があるのか。相互扶助と地域分権、協働に対して、共感とは異質のもののような感がある。

⇒総合計画の中で共感と協働という言葉が出てくるので、大きなキーワードになると思う。協働は今まで使われてきたが、その前に共感が必要ではないか。協働する前の共感という視点が必要ではないかと考えている。相互扶助と地域分権は第1次から継承されてきたもので、その二つの視点でコミュニティを作りながら、将来像に近づけて行こうということになる。

上の文章では対話することで共感となっている。協働することで新たな創造となるので、ペアでいくと対話と協働、共感と創造になるのでは、という指摘なのだろう。上の文章のバランスから言うと、対話と協働になるのでは、ということではないか。

●自分の中では共感という言葉が異質に感じられたので。位置づけとしてはそうなのだろう。説明を聞くと、そうなのだろうと思った。

●将来像の図表で気になったのが、コミュニティの将来像から下に矢印が向いて、下がマスタープランになっている。コミュニティで取り組むことと市で取り組むことは、大体重なると思うが、行政課題の中ではコミュニティでは取り組めないものもある。コミュニティでの課題のことだけでマスタープランにはならないと思うので、この図を見るとコミュニティでこうありたいということがマスタープランにつながるような形になっているので、むしろ横向き、コミュニティの将来像とマスタープランの関係が、見た時に少し違うのではないかという気がする。模式図なので感覚的なものなのだろうが。もう少し検討してもらいたい。

⇒コミュニティ基本構想・基本計画は総合計画の中での一部分、他にもマスタープランの将来像を成し遂げるためには、他の計画とか他の要素も、一部分でしかないが、行政計画なのでマスタープランに沿ってやっていかないといけない。

●マスタープランに沿ってはいるが、これではコミュニティの色々な課題からマスタープランが出ている。コミュニティの将来像だけでは、マスタープランはカバーできないのではないかという気がする。

⇒この図は、コミュニティの将来像との間を結び付けるために基本構想・基本計画の理念がある。その基本理念をどう考えるかという図だと思っているが、確かにコミュニティの将来像とマスタープランが矢印で一気に結びついているので。

●特にどうしたら、という代案はないので。

⇒間にコミュニティ基本構想・基本計画の理念があって、マスタープランがあれば良いのか、と思っている。検討させていただく。

●矢印を双方向にしてもよいのではないか。

●または左右に並べるなど。

⇒上下なので違和感があるのだろう。

●マスタープランは上位にあるもの。それ踏まえて個別の計画を作っていく。ということ

であれば、むしろ逆になる。マスタープランが上に来て、コミュニティが下にくるといふことになるのではないか。

●基本計画を作っていく中で、人材発掘と育成について、もっと人を育てる養成講座を是非大きく出していただきたいと思う。講座を受けることで自信を持って担えると思うので。地域学芸員養成講座などでは、かなりの人数が参加している。そのような具体的な取り組みができれば、と思う。

●4ページの図で、コミュニティと行政サービスが行われていて、その結果このような問題が出てきて大きなつながりが若干小さくなってきている、という右側の図。関わりが全く一緒になっている。コミュニティと行政の交差しているところが。おそらく関わる部分が大きくなってきていると思うし、将来的にはどんどん大きくなると思う。その辺りを書きながら、大きな輪が様々な問題で小さくなっているが、関わりが大きくなっているという辺りを入れ込んだ方がよいのでは、という気がした。行政とコミュニティがバラバラにやっていた部分を、一体にやりながら良いものを作っていくという部分を、その割合がどんどん高くなってきているということ。ただし、そうは言いながら高齢化などの問題があるから、輪が小さくなっている。そうならば尚更お互いが交差する部分を大きくしていかなければならないという。

●策定スケジュールについて、2月にパブリックコメントということだったが、自分自身もこのように関わって、今やっていることが行政の計画案ということであるが、地域に戻ったときに行政が今何をやっているかということは全然見えていないし、策定部会の事務局も一生懸命、私たちの一番関係のあるコミュニティのことと地域の人が協働しあって、同じ目線で宗像市を良くしていこうということをしていることを、自分はここにいるので見えていると思うが、一般市民は見えていなくて、そこで突然パブリックコメントとして出した時に、一番関心を持ってもらいたい、コミュニティのことだから関心を持ってもらいたいことだが、どれくらいの人が見えるかなというのがあって、色々検討されている中で、途中経過なども市民に向けて行っているのか。構想が出来上がってパブリックコメントが出されて、最終案を出すことになるのか。

⇒コミュニティ運営協議会の中では、要望があれば説明にうかがうということにしている。ただ、事前の市民説明会などは、どの時点でするかは決めていない。今のところは行っていない。

●自分は審議会に来ていて行政側の意見を聞いているが、それを伝えるということができなくて、自分も地域に帰れば一般市民なので、審議会でなければ全然見えていないだろうと思う。先ほどのように自治会に入らないだとか、そういうところが多分一歩だと思う。もう少しみんなに少しずつでも、関心がある人が最終的に意見などは述べてもらえると思うが、こういうことをしているということを少しずつでも言っていけないと、いきなり出来たものを1ヶ月くらいパブリックコメントで、最終的にできたものを示すというやり方もあると思うが、何年もかけて検討しているということを表に出す方法はないだろうかと思っている。

●パブリックコメントでどうやって市民の方に理解していただくかということになるか

と思うが、マスタープランの時も市民説明会をどのようにして行うかということは課題だった。途中で説明会をするということだったが、予定よりも遅れたためにしないということだった。それでは困るということで、急きょパブコメ開始後に行うことになった。できればコミュニティ基本構想・基本計画は、全ての市民に関わりが深いことなので、市の内部マニュアルには、パブコメのための市民説明会を行うようにと規定されている。少なくともコミュニティ単位でできれば、これだけをもって意見をどうぞというのでは、意見はあっても出しにくいこともある。説明を聞いて初めてわかる部分もある。折角であれば、説明会をしてしっかり理解してもらって募集した方が効果的だと思うので、今後のパブリックコメントの進め方として、説明会とセットで考えていただきたい。

●4 ページの図で、NPO や市民活動団体が入っているが、新しいコミュニティというか、宗像の場合は地域のコミュニティが中心だが、その位置づけをもう少し大きくしてもよいのではないかと。5 ページの図で、中間支援組織がすべてをつなぐということになっているが、行政としてもコミュニティとコミュニティをつなぐという基本的な役割を、行政としての役割を示す方がよいのでは、と思った。

●総務省の見解では、コミュニティの位置づけがかなり広がっている。従来型のコミュニティと新しいコミュニティをどう結び付けるのかを重要視してきている。地域の中にも、特定の目標とか趣味を持ったコミュニティがある。その位置づけを、私としてはもう少しあっても良いかと思っている。

●策定部会は事務局長ということだか、各コミュニティの意見などを吸い上げながら行っているということか。

●現場の意見を活かすということは重要だと思っている。役員会でこのように進んでいるということは報告なりしている。今回基本構想がまとまったということで、年に3~4回開催される運営委員会で、ここまで進んでいるという報告やパブリックコメントに参加しましょうというPRはできると思う。そのような場に来ていただいて説明いただくと、もっと身近なことになっていくかと。最終的には総会の中で説明するなど、住民に周知を図ることは必要。当地区のことで恐縮だが、2月に自治会の発表会を行う。年に2か所程度だが、自分の地区の活動報告をいただく。そこにはコミュニティに関わっていない人も来る。その時に説明いただくと、今までは講演会などを行っていたが、これをテーマに説明いただき、それから地域活動の発表につながっていくと、意義があるのではという想いを持っている。

●コミュニティ広報紙などでも周知が図られる。

●策定部会においても、地域住民にどのように知っていただくかという手立てを議題として挙げて、議論してはいかがか。

●2 ページの目的の項で、市民活動推進プランと参画条例の記載の順番は逆にすべき。6 ページの「黎明期」という表現は適当ではない気がする。始動期などでよいのではないかと。また、表の区切りが見にくい箇所もある。

●これから基本計画の検討に入っていく。その際にでも気づいたことがあれば出していただきたい。

## (2) 宗像市市民活動推進プランアクションプラン報告

事務局から、資料に基づいて報告。

各事業達成度は担当課の自己申告。その後ヒアリングを行い、摺合せを行った。年度当初にシート入力、7月にヒアリングを実施。取りまとめ方法の検討等に時間を取られ、この時期での報告となった。

●中間支援体制の強化などは大切と思うが、基本的には全庁体制ということか。それと、教育行政は非常に細かく評価をしているが、事業自体の評価はどうか。

⇒事業評価と別になる。事業の中の市民参画の部分でどうなのかということに特化している。

●我々の判断の部分で、達成度が自己申告で、本当にそうなのかということで判断できない。手数をかけない状態での事業報告などがあれば、それを添付して、見ることができればと思う。どのような事業をしてどうなのかが判断できない。

●施策ごとの集計表をみると、かなり詳しく解る。

●場合によっては、審議会で注目する事業について進行管理を詳しく聞くということでも良いかもしれない。

●マイナス評価だけでなく頑張っているところもあるので、そのような部分で伺える機会があってもよいかと思う。今の提案のように絞る必要がある。

●外部評価としては改善会議があるが。

⇒今年実施しない。その代わりに議会特別委員会がある。

●審議会でも評価できるかどうかということ、検討課題としたい。

●達成度は完全自己申告か。

⇒自己申告の後、ヒアリングで精査している。

●マスタープランの中でも市民活動の関わりについて、養成のあとの活用が出来ていないということが課題になっているが、講座を行っているのはそれぞれの所管課だが、市民活動の担当課として、その視点をもって進行管理をお願いします。

～ 休 憩 ～

## (3) 市民サービス協働化提案制度事前検討

事務局から事務連絡。

### ①審査の流れについて

事務局から、資料に基づき審査の流れを説明。

●スケジュールの関係から、答申案は一度各委員に諮った後、その後の修正案については会長、副会長に一任させていただきたい。⇒了承

### ②提案の内容について説明、質疑応答

1、宗像市成人式事業

2、市民活動支援並びに協働促進事業

= 散 会 =